

外国語科学習指導案

令和4年10月 第3学年 指導者 矢畑 英里

1 単元名 「Unit5 What Can Photos Tell? 写真で見る人物・出来事」

2 単元観 ※省略

3 生徒の実態及び指導方針（男子6名 女子6名 計12名） ※省略

4 研究との関わり ※省略

5 単元の目標

SDGs に貢献している人物を後輩へ紹介するために、その人物について的事实や、読んだり聞いたりしたことを整理して、自分の考えや気持ちをまとまりのある内容で話すことができる。

6 単元の評価規準

(1) 知識・技能

① 関係代名詞の特徴やきまりを理解している。

② SDGs に貢献している人物について紹介するために、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。

(2) 思考・判断・表現

SDGs に貢献している人物について紹介するために、その人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

SDGs に貢献している人物について紹介するために、その人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

7 指導と評価の計画（全11時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 ☆ ICT活用	知	思	態	◇評価項目<方法（観点）> 〔記〕：記録に残す評価
つかむ	1	●単元の学習課題を把握する。 ○社会貢献した人物について、SDGsの視点を通して考えたことを、書いたり伝え合ったりする。				◇話の内容を聞いて概要を捉え、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。 <行動観察、ワークシート>
<p>〔単元の学習課題〕 SDGs に貢献している人物について後輩へ紹介するために、その人物がしたことや自分の考え、気持ちを整理し、スピーチをしよう。</p>						
追究する	2 5 8	●主格の関係代名詞を理解し、人物について情報を加えて説明する。 ○有名な日本人について、どのような人物で何をしたのか、ペアで伝え合う。				◇主格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。 <ワークシート>
		●教科書の本文を読んで、どのような人物で何をしたのかについて理解する。 ○人物について、情報を加えて書いたり伝え合ったりする。				◇人物について、情報を加えて書いたり伝え合ったりしている。 <行動観察、ワークシート>

		<p>●主格の関係代名詞を理解し、ものについて情報を加えて説明する。 ○身近なものについて、どのようなものなのか、情報を加えてペアで伝え合う。</p>			◇関係代名詞の文の構造を理解している。 <ワークシート>
		<p>●教科書の本文を読んで、どのような人物で何をしたのかについて理解する。 ○人物や身近なものについて、情報を加えて書いたり伝え合ったりする。</p>			◇人物や身近なものについて、情報を加えて書いたり伝え合ったりしている。 <行動観察、ワークシート>
		<p>●目的格の関係代名詞を理解し、自分が好きなものや人物について伝え合う。 ○人物や、好きなものについて、ペアで伝え合う。</p>			◇目的格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。 <ワークシート>
		<p>●自分が紹介したい人物について、プロフィールやSDGsとの関わり、その人物に対する自分の考えについて書く。 ○紹介したい人物について、調べたことをGoogle Jamboardの付箋に書く。 ☆Google Jamboard</p>			◇自分が紹介したい人物について、調べたことをGoogle Jamboardの付箋に書いている。 <行動観察、Google Jamboard>
		<p>●Read&Think を読んで概要を捉え、伝え合う。 ○教科書本文を読み、要点や概要を捉える。</p>			◇関係代名詞の理解を基に、英文の内容を読み取っている。 <行動観察、ワークシート>
まとめ 9 11 本時 10 / 11		<p>●自分が紹介したい人物について、情報を加える。 ○ペアでやり取りをし、スピーチの内容を付け足す。 ☆Google Jamboard</p>	○	○	◇紹介したい人物についてやり取りし、加えたい情報をGoogle Jamboardの付箋に書いている。 <行動観察、Google Jamboard (思) (態) >
		<p>●友達とやり取りし、スピーチを再構築する。 ○紹介したい人物のスピーチについて、友達とアドバイスし合い、再構築する。</p>	○	○	◇友達とやり取りし、簡単な語句や文を用いて質問や感想を伝え合ったりすることで、スピーチを再構成している。 <Google Jamboard (思) (態) [記] >
	<p>[本時の学習課題 (めあて)] 紹介したい人物のスピーチについて友達とアドバイスし合って、スピーチの内容を再構築しよう。</p>				
		<p>●校内のSDGsの取組の一環として、それに貢献している人物について後輩へスピーチをする。 ○後輩に向けてスピーチをする。</p>	○	○	◇後輩へ伝わるように、簡単な語句や文を用いて、人物について伝えようとしている。 <行動観察、Google Jamboard (思) (態) [記] >
後日		○パフォーマンステスト	○	○	◇言語面、内容面からスピーチの改善を行っている。 <行動観察、Google Jamboard (知①、②) (思) (態) [記] >

5 本時の展開 (10/11時間目)

(1) ねらい

自分が紹介したい人物のスピーチについて尋ねたり伝え合ったりし、友達からスピーチを改善するアドバイスのフィードバックをもらうことによって自分のスピーチを再構築することができる。

(2) 準備

電子黒板、コンピュータ、プロジェクタ、ICT端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・想定する生徒の意識 ☆ ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)>
導入 5分	1 あいさつ・ウォームアップをする。(☆) ○自分の好きな人やキャラクターについてやり取りを行う。 2 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時の学習課題(めあて)] 紹介したい人物のスピーチについて友達とアドバイスし合って、スピーチの内容を再構築しよう。</p> </div>		
展開 40分	3 本時の活動に取り組む。(☆) ○紹介したい人物について、ペアで発表し合う。 ・難しい表現があるから伝わっているかな。 ・単語が聞き取りづらいところがあった。 ○グループになり、再構築の視点に沿ってアドバイスし合う。 A SDGs…人物が貢献しているゴールは他にもあるか検討する B Rewrite…後輩にとって分かりやすい表現に書き換える C Add…分かりやすくするために必要な情報を足す (発表→質問→再構築 一人あたり8分×3人) ・もう少し分かりやすい動詞を使いたい。 ・いつの時代の人か分かるようにしたほうがいいな。 ・人物がしたことを改めて振り返ると、他にもSDGsのゴールを足すことができそう。 ○スピーチを再構築する。 ・友達からのアドバイスで伝わりやすいスピーチになった。 ○ペアでもう一度発表し合う。 ・前回より伝えたいことが伝えられた。	○Google Jamboardを見せ合いながら、人物について交互に伝え合わせる。 ◎Google Jamboardを共有し、SDGsの視点を通してゴールを見直したり、後輩に伝わりやすくするために表現を書き換えたり、情報を付け足したりすることによって、スピーチの再構築をさせる。 ●表現を書き換えるのが難しい生徒に対しては、友達の書いた内容を見て、人物が貢献しているゴールが他にもあるかどうか、SDGsのアイコンを見ながら探すよう促す。 ○友達からのアドバイスをもとに、各自で付け足したり直したりさせる。 ◇友達からのフィードバックを受けて、人物について再考し、より分かりやすい言葉で伝えられるように加筆修正している。 <Google Jamboard(思)(態)[記]>
まとめ 5分	4 活動の振り返りをする。 ・後輩に分かりやすく伝えるために、表現を変えられた。 ・偉人はSDGsの様々なゴールに貢献していることが分かった。	

(4) 板書計画

<p>Today's goal: 紹介したい人物のスピーチについて友達とアドバイスし合って、スピーチの内容を再構築しよう。 ○Small Talk ○Talk with your friends (8min for each friend) ●Speaker ●Listener ・Speech ・Listen to your friends ・Make your speech easy to understand ・Give feedback to your friends How to make your speech better ☆SDGs ☆Rewrite(書き換える) ☆Add(付け足す)</p>
